昭和25年2月1日　こすど公民館報　毎月1回1日発行（非賣品）　第5号

こすど 公民館報

発行所　小須戸町公民館
印刷発行人　小須戸町中新町　三瀬矢一郎

全國優良……山邊里公民館を視て

青木マツミ

全國に優良公民館として表彰された岩船郡山辺里村公民館を視察して來ました。

山辺里村は村上町の東北に隣接している人口約四千六百、戸数七二〇の農村で、村には東西十六粁に渉つて二十の部落が散在し村上町の平場地帯は耕作面積も廣く多少の商工業者もいるが山間地帯は殆ど農林産業に従事しています。

且下建築中である山辺里村役場の二階が公民館に使用され何の施設もありませんでした。其の日は折り悪しく行事が重なつたとの事で午前中は公民館長の御説明に終り、午後から三ケ所を視察したのですが、館長さんは御挨拶に

『社会教育の成果はあせつて速効を望むべきでない。他から見て貰う公民館ではないのに、優良公民館として表彰されてより視察者の応待にいとまなく仕事も出來ず困つている』

と、ぼやかれておられました。

特色と言えば婦人部の社会学級の定期講座が月二回に開かれ会村の婦人は挙つてそれに参加し時間厳守で教養を中心に、しかも楽しく其の日を過すも言う事でした。

これは私達小須戸の町にも婦人の教養を高める意に於て是非設ける必要ありと感じ、又社会教育として縣からも要望されている事であります。

視察個所では幾代となく続いて今日なお盛んに織り出されている個人経営の山辺里機業の工場を見せて頂きましたが、殿の裏地が大部分で最近はレインコートの生地も出來るとの事でした。

村の製粉、製麺をする副館長宅の作業場を見学しとかく不足勝ちな糖分を補う爲組合長さんが熱心に飴の製法を研究中だとのお話をきゝました。

次は縣下唯一と誇つているサツマ芋の貯蔵庫でした。キュアリングという温熱処理による芋の表面にコルク層を造り病源の浸入を防ぐ貯蔵法でした。

以上三ケ所の視察でしたが全國に表彰された優良公民館として期待の大きかつた爲か内心いさゝか物足りなさを感じ、ふと「見ぜる爲の公民館でない」との館長さんのお言葉が頭にひらめき『公民館は古い町村に新しい一つの施設として加えられたものでなく公民館を中心にして新しい町村のあり方を創造する』というにあると考えさせられました。

論壇

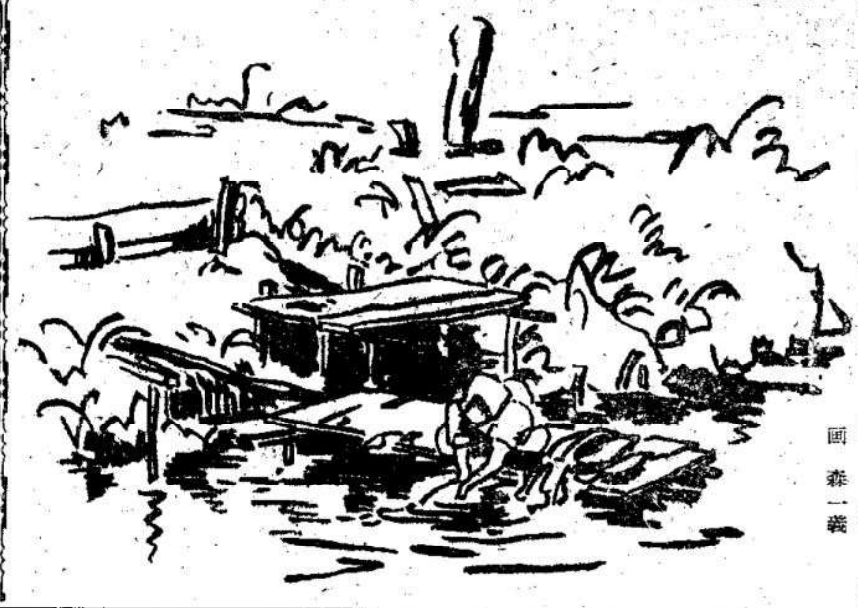
小須戸分館設置を望む

一青年（紙上匿名）

新しく発行された小須戸青年團報に「小須戸分館を設立せよ。」という意見が載つておりますが、このように若い人々の間から公民館への要望が高まつて來たことは誠に喜ばしい現象と考えます。

それにつけても、私達の公民館が優良公民館として表彰されたわけを顧みますと、簡單にいえば「よく働き、よく伸びている。」という点だつたので す。これは終戦の後に町の文化運動として起つたものが、先ず小さいものから出発して次第に強大して來た生い立ちを見れば当然の事実なのであります。形式の整つたものを目的とせずに、内容豊かなものが第一とされ、徒らに程度の高低問題に拘らず、たゞ多くの人々から好かれ賞される様な活動が展開されていたのであります。

それ故現在でも本館が直接動くよりも分館の運動が重んぜられ例えば矢代田や新保には以前より社会学級を中心とした活潑な営みがあり、また横水連絡協調の面で十分とは言えなかつたようですがしかし、これによつて分館設置の氣運が大いに開け、青年層でもこの問題を切実なものとして取り上げられるならば小須戸町公民館運動全体にも新たな生彩が加えられる事と信じます。常に時代のトップを切つて進む青年の意見に対して固い地盤と豊かな肉付けを用意して下さる壯年の多からん事を望んで止みません。



しさ陽の春なかやわら
のもいし洗でりむかサネアはに妻新

圖森一義

町民藝能祭

活潑な矢代田分館

農閑期を最も有効に利用して、活潑な運動を開始した矢代田分館では、さきに中央会場で盛大な開講式を挙げ、續いて部落会場である鐵倉、天ケ沢の矢代田の各会会堂で警察長沢部長、小川分館長を講師に、〝防犯と教育〟のテーマのもとに婦人会青年團及び一般各層部落民多数の出席を得て大きな効果を収めた。

更に山の手連合青年團では一月十日弁論大会を開催、若き血に燃える男女三十余名が参加、舌端火花を散らし盛会を極めた。

塵も積つて

新保少年團は十一月中旬から二回にわたつて見捨てかえりみられなかつた落穂を拾つたが、ほんとに塵も積つて山をなし、もみで約一俵半お米三斗といふ莫大なものに して、拾つた本人達ですら驚いている有様である。

そしてこのお手柄は給食時に暖い御飯として全兒童に配られたが、勤労の有難さ、うれしさをしみじみと噛みしめていた。

抗対落部……コンクールも入れて

年に一度の顔はづし……町民かくし藝大会は今年も十二月十六日午前九時から中学校で敬老会をかねて華々しく開催することになつた。

町長さんのカチューシヤも署長さんの浪花節さては校長さんのモシ〳〵亀よの珍藝もとび出すという楽しさことに今年の呼びものは部落対抗の歌舞コンクールで、これは午後一時から各部落の代表選手がステージで競い合つたのを審査員が点をつけて入賞者に賞品を差上げるという、今年はじめての試みで、各部落の猛者たちは毎夜ものすごい張り込みかたでさぞ当日が待たれることと思う。

また町の民生事業授産会婦人会、青年團、公民館では敬老会を開いてお老人達を招待して当日の催しを楽しんで貰いたいという大会は今年もうので、大型バスを仕立てて部落から部落へ送り迎えする外ゆつくりとした座席やその他いろいろの準備を進めている。

成人式記念 町長杯争奪 辯論大会

成人をお祝した連合青年團の弁論大会は十五日成人式終了後、各支部より三名の選手を送つて壇上の雄弁に壇下の雄弁？に熱戦を展開した

個人入賞

一等　松尾健一　鎌
二等　久保護郎　須
三等　土田秀三郎　天

共同住宅竣工

町厚生施設として建設中であつた共同住宅はこの程竣工、建具畳の設備を急いでいるが、申込は実に七十余世帯に達しこれが入居者を選定するため町会厚生部委員と町民生委員が、数回に亘つて調査の上慎重審議を重ねた結果更に十三日の町会の決裁を経て、引揚者四畳町太田大作氏外三十一世帯を決定した、入居者は更に抽籤の上各自の入居家屋を定めたが電燈用水は近く完了する。

大小須戸町建設 論文募集 懸賞

形式内容は自由
四百字詰原稿紙五枚以内
〆切　二月末日
送り先　公民館
発表　本紙四月号紙上
審査員
町会議長　海津良助
教養部長　宮崎純能
経済部長　白井門蔵
社会部長　賓和満之十
中学校長　旭了輝
連青團長　岡田六衛
一般　田中四郎

賞
一等　町長賞　副賞千円
二等　公民館賞　副賞五百円
三等　町会議長賞　三百円
佳作（二篇）　百円

スケエアーダンス講習会

情操教育と冬季運動不足を補うため、公民館では皆さんの要望にこたえて中学校小柳四暢先生外數氏の指導で、今回スケエアーダンスの講習会を開催することになつた。

楽しみと健康増進に、男も女も、老若を問わずとなたでも遠慮なしに御参加下さい。お待ちしております

期日　二月十二、三、四の三日間　毎夜七時から
会場　小須戸小学校
会費　不要です

横水の近郷町内青年辯論大会

ふるつて参加と声援を希望いたします

青年の修業は先ず弁論よりの目標のもとに二月十二日横水校に於いて横水分館主催小須戸連合青年團後援のもとに町内並に近郷青年弁論大会を開催いたします

日頃の研究と燃え上る青年の意氣發揚を切望いたします

嫁ぐ日近きか？

横水女子青年團は一月八日横水会場にて婦人会、青年團、公民館の結び方並に茶の湯の講師による着付けと丸帯姿に我れと我が目を疑ぐるばかりの晴れ姿に感歎と歓声で有意義の一日を送つた。

おけいこ、更に五十回

声明

今回新聞紙上に報道された「談合事件にからむ增收賄賂疑惑」の問題について皆様にいろいろ御心配をおかけ致しましたが各紙の記事中でも明らかにされているとおり私は直ぐ金を返し從つて同事件に関しては何等やましいところなく又從來といえどもいささかの不正行爲なきことを声明すると共に今後一層信念とするガラス張り政治に精進いたしますから御懸念なく一段の御支援と御鞭韃をお願い申します。

一月二十日

縣会議員
新津郷耕地整理組合長
小須戸町町長
村山吉五郎

寄贈御礼

葬盤（葬石つき）一組
五十嵐兵治氏
額縁　一架
佐藤德次郎氏
ガラス製水差しコップ
木村神二氏
各種記錄写眞
吉田德藏氏

なぎさ

『澤蛙の聲』

お茶山の松葉

先ほど迯降り續いていた雪もやみ、松の間から陽がのぞく折しもむこうから、袖無しにきんか帽子というなりで立ちのおとこ、

「おめえ、見たけえ、今日もろうたこすど館報。でつけえ事書うてるろも、山の手のほうれなて、何の役れも立たれえんすけのう。」

「あゝ、あの読書クラブの話しけえ。たんだ今そこれもゆうてたとこさあ、山の手のもんおきざりれして縣下に誇るもくそもれえおの。」

「そらてべえ、こんだ矢代田れも本貸してくれるとこをこしよればならんのう」

「ほんれさあ、むらみてなもんなかの蛙れも、やつばおもつしえ本見てえときもあるすけえのう」

公民館運動の一環として發足した読書クラブも、町民一般に利用され愛用されてこそ、成立するのであつて、この様な言葉が、村なかにはんらんしているようでは読書クラブも運営方法を一段と考慮し、里の人にも、山の人にも親しまれるクラブならん事をお願りする。

◇ サに非ず

右の文は矢代田分館より寄せられたものでありますが、私たち読書クラブ運営の関係者としては誠に参考となる点多く深く感謝いたします。

しかし、これについては大分誤解もある様ですから、一言申させて頂きます。御存知の方もありましようが、前掲の文は一月号の記事に対してのものです。所で同じ一月号中にも、又以前の館報にもたびく会員募集の廣告は出してありましたが、山の手方面からの申込者は一人もなかつたのでした。その上、毎月末に開いて來た例会にも、分館苑の案内狀を度々出しましたが希望者なき爲か、これまで一度も御参加下さいませんでした。それ故此方では分館へお廻しするようにと折角取り揃えた本もそのまゝ殘されていたという狀態です。今後は是非とも申し込まれるとともに会合の際には必ず分館より一名は出席して下さいますようお願いいたします。

公民館誌より

◇十二月三十日
読書クラブ例会
図書の整理と配本
（於了專寺）

◇一月一日
新年祝賀式
（於各学校）

◇一月十日
読書会
読後感の発表と今後の運営に関する討議
（於了專寺）

◇一月十日
山の手青年團弁論大会
審査員として間野主事、小柳幹事出席
（於矢代田分館

◇一月十五日
成人式
式後記念撮影
町長杯争奪青年弁論大会
閉会後講評座談会
（於公民館）

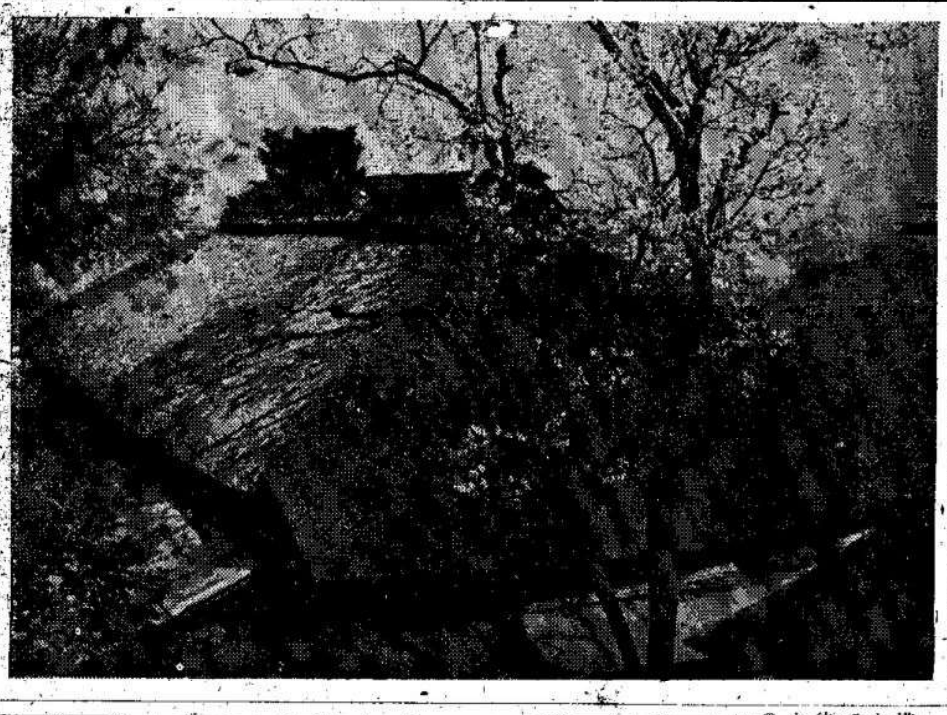
◇一月十七日
郡主催公民館事務職員研究会
間野主事、青木書記出席
（於地方事務所）

◇一月二十一日
菅名村公民館より視察に來館

◇一月二十二日
館報編集会議
（於　役場）

◇一月二十四日
運営審議会
（於　役場）

昭和25年2月1日　　こすど公民館報　　毎月1回1日発行（非賣品）　　第5号（二）



あたゝかい二月　撮影『富田起風氏』

少年不良化防止
＝＝家庭のしおり＝＝

戦後青少年の不良化は激増の一途をたどり全国犯罪数の約七割という恐るべき数字を示し、各関係方面からも憂慮されていたが、さきに衆参両議院でもこれを重大視して青少年不良化防止決議やこれにともなう種々の対策が講じられた。

本町でもこれに呼応して縣下にさきがけて青少年問題対策協議会が結成されて、青少年の不良化防止にいろ〳〵の手を盡し萬全を期しているが、今回更に小須戸警察署では家庭のしおりとして次の参考事項を贈つて一般の注意を促している。

一、子供の不良化は親のなおざりから

○あなたはあなたの子供が美しい心とつゝしみとを持つたよい子に育つようにいつも努力しておられますか？

○あなたの子供がどんな友達と遊びどんな映画を見ているか御存じですか

○子供のまちがいを見つけたときは子供によくわかるようになおしてやることを忘れてはおられませんか？

一、子供の不良化は暗い家庭から

○あなたの家庭には暗いいざこざはありませんか？

○あなたは子供心を傷つけるようなことをしたり、話しあつたりはなさいませんか？

○あなたは一日にたとえ五分間でも子供と一諸に遊んだり笑つたりすることがおありですか

一、子供の不良化は親の無理解から

○あなたは子供を可愛がりすぎてわがまゝにさせたりひとに迷惑をかけたりしてはおられませんか？

○むやみに子供をおさえつけるばかりでそのよいところを伸ばすことを忘れてはおられませんか？

○氣分にまかせて子供を叱つたり、兄弟の内で一人だけを特別に可愛がつたりはしませんか

一、不良化防止はみんなの力で

○あなたは学校の先生といつも連絡をとつておられますか？

○あなたの地区を受け持つ児童委員は誰であるか御存知ですか？

○よその子供だからといつて、悪い事をしていてもされていても見て見ぬふりをしていないで、みんなで力を合せて大切なわれわれの子供達をいまわしい不良化からまもり育てましよう

生まれいでたり 青年團報
我等が姉妹紙

意氣と熱を盛つて澎湃とでの学習、楽しいお話や美しい青年團報が誕生しうれしい童話など盛り沢山の行事と更に旧正月の休暇を各自の自覚と友愛によつて結ばれ、学習等もおこたらず立派に過すことを誓い合つてほんとうに楽しい一日を過したことだ。我等の姉妹紙としてこれからの発展を期待する。

町民 カルタ會

期日　二月十一日(土)
午後一時から
会場　了專寺(二番町)
選手　一組四名、縦組でも出場下さい
会費　不要です

どし〳〵御参加下さい、手ぐすね引いて待つております
お手持のカルタは是非御持参下さい。

引福 連合大賣出し
一月廿八日より二月三日迄

空くじなしで
参加八十商店

小須戸町商工連合会では旧正月の年末年始にかけて、町の商店八十店が参加して華々しく福引大賣出しをする。

「二百円」お買上げ毎に福引券をお上げし「五十円」毎に補助券を差上げて「四枚」集まれば「福引」を引ける仕組でこれはどの加盟店でも共通です

但しお買物の内「配給品」には福引券も補助券もつきません

抽籤　二月二、三、四日、(四日は正午迄)
旧警察署跡で

景品
一等　参千円　十本
二等　本箱火鉢(一對)　廿本
三等　傘　五十本
四等　笠　百本
外空籤なし

隨想 ハンスト

中沢照夫

近頃よく世評になつている〝ハンスト〟とはなんのことだろうと思つて色々調べてみ、どうやら「いうことを聞いてくれなければ餓死して見せる」とハンが的のためにストライキの項に書いてあつた解釋文がそれらしい。

そんなことは第二の問題として、現在よく見聞する所謂ハンスト行爲について考えて見よう。一体生命の危険をおかして他人を脅迫することが〝ハンスト〟であるならば、他人の横面を拳固でなぐる暴力と五十歩百歩ではなかろうか。

これはクリスチャンデモクラシーの総本家筋にあたる英国にもあつたらしいが、もし民主主義というものが「目的のためには方法手段を選ばぬ」ものであるならばそれ